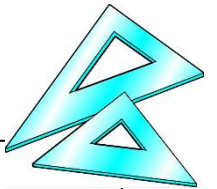


公開研究会のご案内



教科研究主題

問題発見・解決能力を育成する学習の個性化の実践
～数学科「単元レポート」における振り返り活動に着目して～



＜研究内容について＞

本研究は全体研究主題「多様な実践から考える個別最適な学び～学習者の視点と授業者の視点～」を受け、学習の個性化に着目した2年研究の2年目になります。具体的には、数学科における学習の個性化を「単元レポート」の作成を通して実現していくことを目指した実践研究です。

本研究では問題発見・解決能力のうち、特に問題発見能力に注目し、この問題発見能力を、数学の事象について生徒が問いや疑問を抱き、解決の見通しをもって自身の問題として選択・決定することであると捉えました。数学を苦手とする生徒も含め、多様な生徒の問題発見能力の向上を目指した教師の手立てを提案します。

主な研究内容としては、振り返り活動に重点をおきながら、教師の手立てと複数回のレポートを繰り返す中で生徒の問題発見能力がどのように変容していくのかを報告する予定です。

展開授業

2年B組

変えられるところはないかな
～図形領域における実践～

＜授業者 佐久間 淳＞

本授業は5時間の授業展開であり、図形領域において授業で生まれた生徒個々の問いを単元レポートの時間に解決し発表する流れとなっています。図形領域における授業を3時間と単元レポートの時間を2時間の計5時間分の授業を約1時間に編集しました。

生徒が問いを生み出すには題材と授業展開の工夫が重要です。題材は特殊なものではなく教科書にあるものから選び、授業展開は苦手な生徒でも取り組めるような工夫をしました。是非、ご覧いただき、協議会で忌憚ないご意見をいただければと思います。

開催日時：令和6年6月27日（木）14：30～16：30 オンライン受付時間14：15～14：30

（研究内容と実践授業の協議会をオンラインで行います）

申込期限：令和6年6月19日（水）まで

参加方法：申し込みをされた方に向けて6月20日（木）までに、授業動画ビデオの URL と研究内容が掲載された本研究の会誌、展開授業内容の学習指導案をお送りします。

また、協議会参加の Zoom ID とパスワードなどもその際にお知らせいたします。

